

緊急消防援助隊情報

令和2年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練の実施結果について

広域応援室・愛知県消防保安課

令和2年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練は、発生が予想されている愛知県東部沖の南海トラフを震源とする巨大地震災害を想定し、「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」や「タイムラインに沿った初動体制、連絡体制、指揮命令系統等の確認」をコンセプトに、緊急消防援助隊に係る各種計画、愛知県緊急消防援助隊受援計画や関係消防本部の受援計画に基づき、応援要請手続きや初動体制の検証と県の受援力の強化等を図ることを目的に次のとおり実施しました。

1. 実施日

令和2年9月1日（火）

2. 実施場所

愛知県消防応援活動調整本部（愛知県自治センター6階災害情報センター）

航空指揮支援本部（名古屋飛行場内）等

3. 実施内容

(1) 訓練想定

令和2年9月1日午前6時00分、愛知県東部沖、南海トラフを震源とするM7.8の巨大地震が発生、愛知県内陸部各地で最大震度7を観測し、大津波警報が発表され津波による沿岸部への被害も発生した。

この地震により、豊橋市を中心とする東三河地域では、建物倒壊、火災及び土砂災害等により、人的・物的ともに甚大な被害が発生した。

愛知県内消防機関は消防相互応援協定に基づき、被害の大きい地域へ県内応援隊を出動させた。また、愛知県知事は、被害が甚大であることから、愛知県内の消防力のみでは対応が困難と判断し、緊急消防援助隊の応援要請を行った。

(2) 消防応援活動調整本部等設置運営訓練（図上訓練）

愛知県庁において、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、消防応援活動調整本部設置運営訓練を実施した。災害発生時間を早朝に設定し、時間外対応についての検

討・検証を実施し、即応体制の強化を図るとともに現体制の課題を見出す訓練内容とした。

また、応援要請等に係る情報伝達、受援調整及び応援部隊の進出シミュレーションについて、ロールプレイング方式により図上訓練を実施した。



消防応援活動調整本部設置運営訓練 愛知県庁

ア タイムラインに沿った発災時の応援手続、初動体制の確認

早朝の発災の場合、調整本部設置までは、宿直室での対応となるため、少人数での消防庁の出動決定等の手続き、対応マニュアルの確認を実施した。



宿直室における初動体制の確認 愛知県庁（仮想宿直室）

イ 消防応援活動調整本部での調整

災害対策本部、航空指揮本部との連携、被害情報の収集及び管理のほか、関係機関との連携の調整を実施した。



《今後の課題等》

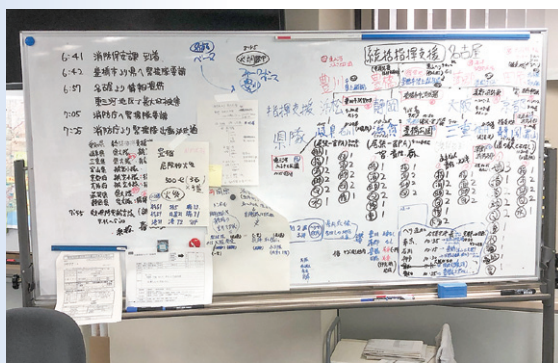
- 統括指揮支援隊到着後、引き継ぐべき情報がホワイトボードに記載できておらず、引継ぎが円滑に実施できなかった。
- 統括指揮支援隊が調整本部に到着直後に調整本部の本部員と協議し、役割分担を明確にする必要があった。

ウ 応援部隊の進出シミュレーションの実施

タイムラインに沿った部隊進出シミュレーションを行い、連絡体制、指揮命令系統を重点的に確認した。

《今後の課題等》

- 調整本部の役割分担が明確でなかったため、正確な情報伝達を実施できなかった。
- 応援部隊の管理について、情報管理ツール等を用いた状況把握が正確に行えず、情報が混在し管理しきれなかった。
- 指示や照会等に確実に対応するため、カウンターパートを徹底するとともに、照会毎に番号等を付して対応する必要がある。



ホワイトボードでの情報共有の状況

エ 緊急消防援助隊動態情報システムの活用方法の確認

被災状況、道路情報を共有し、応援県大隊の進出情報を随時確認して適時・適切に対応するために、緊急消防援助隊動態情報システムを活用して、情報収集と共有を行った。

《今後の課題等》

- 情報の入力担当者を決めていなかったため、調整本部で把握した情報等をタイムリーに入力し、共有することができなかった。
- システム画面をモニターやプロジェクターで投影すれば、より効率よく情報共有を行えたものと思われる。

オ 新型コロナウイルス感染症対策

参集時の濃厚接触の有無の確認、検温等による体調管理、手指消毒、資器材の定期的な消毒を実施するとともに、3密対策として、訓練参加人数及び見学者数の制限、セレモニー等の中止、訓練状況のオンライン配信等、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

《今後の課題等》

- 各個人の感染予防対策、検温等は確実に実施出来たが、図上訓練実施時には、情報共有、連絡調整のために隊員が密集、密接して会話することが多かった。対応策が必要である。
- 調整本部が立ち上がった後の3密対策、熱中症対策は今後検討する必要がある。



検温等の体調管理実施状況

4. おわりに

今回の訓練では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した消防応援活動調整本部設置・運営訓練、早朝に発災したときの初期対応から統括指揮支援隊への引継ぎ、調整本部運営へと繋がるタイムラインに沿った訓練を計画・実施しました。

愛知県における緊急消防援助隊の受援及び部隊運用、関係機関との連携活動等における課題等が明確となり、大変有意義な訓練となりました。

今後、今回の訓練で得られた成果や課題等を踏まえ、愛知県では緊急消防援助隊の応受援体制の更なる充実強化に努めてまいります。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました中部ブロック各県、参加各消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527 (直通)